



2015～2016年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2015～2016年度
国際ロータリー・テーマ

世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

国際ロータリー会長

K. R. ラビンドラン

国際ロータリー2720地区 **中津平成ロータリークラブ**

会長 辛嶋 崇 幹事 宇都宮 監 浩 会報担当 二反田 新一 クラブ広報委員長 二反田 新一

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org>

第1222回例会 平成27年7月30日(木)

●本日の例会プログラム 納涼例会

◎次回例会プログラム 「業務内容について」

中津商工会議所 中小企業相談所 奥上勝己氏
グランプラザ中津ホテル 12:30～



前回(1221回例会)の記録

平成27年7月23日(木)

■ゲスト

円林寺 末廣法崇氏

■ビジター

安田雅豊氏 (中津中央RC)

■出席報告

会 員 数 24名
免 除 者 数 1名
対 象 者 数 23名
本日出席者 14名
欠 席 者 数 9名
出 席 率 60.87%

■1220回出席報告の修正

1220回欠席者 9名
メイクアップ 2名
欠 席 者 7名
修正出席率 60.87%→ **69.57%**

●メイクアップ

岡野会員、永松会員(玖珠RC)

●欠席者

◎ロータリーソング 我等の生業

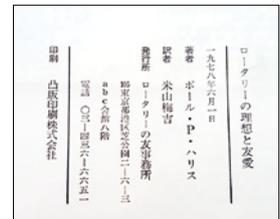
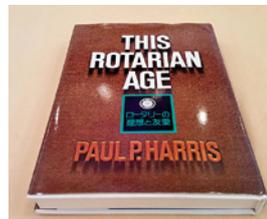
◎会長の時間 辛嶋会長

先週は野田三郎地区ガバナーの公式訪問例会でしたが、たくさんの会員の皆さんに出席していただき、ありがとうございました。ガバナーからも好評をいただき、年度の大きなヤマを早期に超えることができました。その翌々日の土曜日大分地区での職業奉仕セミナーと管理運営セミナーが大分市のホルトホールでありました。例によってグループによるディスカッション方式でしたが、私のグループは会長または次期会長の方々のグループでした。午前中のリーダーは本田パストガバナーで大いに勉強になりました。午後はリーダーが野田ガバナーでこれまた有意義な時間を過ごせました。リーダーにも記録係にも発表係にもならなかったのが比較的気楽に過ごせました。



今日は「ロータリーの理想と友愛」という本をご紹介します。この本は著者がポール・ハリスで訳者が日本のロータリーの創始者である米山梅吉氏であります。初版は昭和11年3月に刊行されました。ロータリーのバイブルともいえるべき本です。ちなみに、アマゾンでこの本の存在を調べましたら中古品が2冊あり、どちらも19,900円ぐらいでした。現在では購入しなくても、インター

ネットで閲覧が出来ますのでダウンロードして閲覧してみてください。但し、旧仮名遣いでもあり、文章がやや難解ですが、ぜひ一度チャレンジしてみてください。



◎幹事報告 宇都宮幹事

- ・例会変更 宇佐RC、日出RC、別府RC、別府東RC、大分臨海RC、大分中央RC
- ・週報受理 中津RC
- ・熊本東RC「創立50周年記念誌」受理
- ・中津商工会議所「商工会議所ニュース」受理回覧
- ・「ガバナーアドレス印刷版」受理回覧
- ・中津RC「クラブの現況活動報告書」受理回覧





2015～2016年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2015～2016年度
国際ロータリー・テーマ

世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

◎本日のメニュー



◎委員会報告

前年度会員増強・退会防止委員会 出席奨励 黒瀬前委員長
2014-2015年度100%出席者表彰
梶原、加来、辛嶋、黒瀬、永松、吉野、田長丸、二反田、岡野、若松 (各会員)

◎ニコニコボックス

【辛嶋会長】先月退会の松本会員からニコニコを頂いています。円林寺の末廣さんは私の息子の南高時代、空手部の先輩です。

【永松会員】末廣さんは高校の後輩にあたります。月曜、1か月ぶりにゴルフに行きましたが、減茶苦茶調子が悪く、クラブを替えようか悩んでいます。

【岡野会員】中津、日田、玖珠と大分第一分区ガバナー公式訪問が終わりました。多くの方々のご協力ありがとうございます。地区からガバナー補佐へ資金を頂いています。秋のIM等の軍資金としてニコニコします。

【仲本会員】ガバナー公式訪問例会に参加できずに申し訳ありません。ゴルフのおかげで体調は良いのですが、今からの季節熱中症に気を付けていこうと思っています。

【黒瀬会員】早退、失礼します。葬儀の途中、数珠がはじけて周りに迷惑をかけてしまいました。代わりに身を守ってくれたと思っています。月曜火曜と東京に行ってきました。妻と久しぶりに再会しました。

【中島会員】今日は末廣さん、卓話をありがとうございます。

【梶原会員】中津祇園のため早退します。

【小野会員】長い梅雨でランドリー事業が好調です。

◎ゲスト卓話

「お盆について」

円林寺 末廣法崇氏



【仏説盂蘭盆経】

我聞如是 一時仏在 舍衛國祇樹給孤独園 大目乾連 始得六通 欲度父母 報乳哺之恩 即以道眼 觀視世間 見其亡母 生餓鬼中 不見飲食 皮骨連立 目連悲哀 即以鉢盛飯 往餉其母 母得鉢飯 便以左手障鉢 右手搏飯 食未入口 化成火炭 遂不得食 目連大叫 悲号啼泣 馳還白仏 具陳如此 仏言 汝母 罪根深結 非汝一人力 所奈何 汝雖孝順 動天地 天神 地神 邪魔外道道士 四天王神 亦不能奈何 当須十方衆僧 威神之力 乃得解脱 吾今当為説 救濟之法 令一切難 皆離憂苦 仏告目連 十方衆僧 【七月十五日】 僧自恣時 当為七世父母 及現在父母 厄難中者 具飯百味 五果 汲灌【盆】器 香油 錠燭 床敷 臥具 尽 世甘美 以著盆中 供養 十方大徳衆僧

【六道】

天道、人間道、修羅道、畜生道、餓鬼道、地獄道

【盂蘭盆会の歴史-1】

(中国において)

梁の大同4年(西暦538年)7月15日に法会が行われる『仏祖統紀』(日本において)

斉明天皇3年(西暦657年)7月15日 一須弥山の像を飛鳥寺の西に造り、盂蘭盆会を行なった。『続日本紀』

聖武天皇(天平5年=西暦733年)宮中にて中元(7月15日)に盂蘭盆会を開催することを常式とした。『元亨釈書』

【盂蘭盆会の歴史-2】

律文によれば僧は14日に自恣し、尼は15日に自恣せよとあり、あるいは三日間自恣せしむる事あれども、多くは14・15の両日を

以て重とせり。而して16日は送行とて八方分散して諸方に遊化するなり。斯くの如き由縁あるを以てこの三日を盂蘭盆とするなり。然るにその三日の中、15日を以て正当とするのは盂蘭盆経に15日自恣の日とあるに依る。

『事物問答五百題』

【お釈迦さまの一生】

・誕生(ルンビニーにて)…ルンビニー園(現ネパール)での誕生と生母の死(四月八日 花まつり降誕会(ごうたんえ)) 父=スットダーナ 母=マーヤ

天上天下唯我独尊「吾当に世において無上尊となるべし」

・出家(カピラ城にて)…二十九歳ごろに宮殿を捨てて出家(結婚後一子をもうける)四門出遊=東の門で老人に会い、南の門で病人に会い、西の門で葬送の列を見て北の門で修行僧に出会った。その後決心して愛馬カンタカにのって修行に出た。

・苦行(ネーランジャ川にて)…それから六年間の厳しい修行(断食と坐禅の日々)

【中道】

厳しいすぎる苦行やそれと反対に快楽主義に走ることなく、目的にかなった適正な修行方法をとること。

【四諦(したい)】

・苦諦(くたい) = 人生苦なりと諦める

・集諦(しつたい) = 苦の原因が我が心にあると諦める

・滅諦(めつたい) = 苦の原因を滅することができる諦める

・道諦(どうたい) = 方法として八正道があると諦める

【八正道】

・正見 = 自己中心的な見方や、偏見をせず中道の見方をすること。

・正思惟 = 自己本位に偏らず真理に照らし物事を考える事。貪欲・瞋恚・愚痴。

・正語 = 妄語・両舌・悪口・綺語という「口の四悪」を行わないということ。

・正業 = 仏の戒めになかった正しい行いをする事。仏が戒めたのは殺生・邪淫という「身の三悪」です。

・正命 = 人の迷惑になる仕事や、世の中の為にならない職業によって生計を立ててはいけないこと。

・正精進 = 自分に与えられた使命や目指す目的に対して、正しく励むこと。

・正念 = 常に自分の置かれた立場、環境を正しく知り、自らの心を統率して責任ある行動に結びつけること。

・正定 = 心の状態が真理に照らし正しい状態に定まる事。決心が外的要因や変化に迷われないということ。

お釈迦さまの一生

・誕生(ルンビニーにて)…ルンビニー園(現ネパール)での誕生と生母の死(四月八日 花まつり降誕会(ごうたんえ))
父=スットダーナ 母=マーヤ

天上天下唯我独尊

インド聖大徳羅漢図

「吾当に世において無上尊となるべし」

出家(カピラ城にて)…二十九歳ごろに宮殿を捨てて出家(結婚後一子をもうける)

四門出遊=東の門で老人に会い、南の門で病人に会い、西の門で葬送の列を見て北の門で修行僧に出会った。その後決心して愛馬カンタカにのって修行に出た。

四苦八苦

生老病死
愛別離
怨憎会
求不得
五盛衰

苦行(ネーランジャ川にて)…それから六年間の厳しい修行(断食と坐禅の日々)

修行をするお釈迦様

お釈迦さまとスジャータ